

導電性カーボンブラックの 配合・分散技術と電池特性への影響

1名分料金で
2人目無料セミナーURLはこちら→ <https://www.rdsc.co.jp/seminar/241266>

- ◆日時:2024年12月11日(水) 13:00~16:30
- ◆【アーカイブ配信:12月12日(木)~12月20日(金)(何度でも受講可能)】
- ◆受講料:1名につき49,500円(税込、資料付)

会員(案内)登録していただいた場合、通常1名様申込で49,500円(税込)から
・1名で申込の場合、**46,200円(税込)**へ割引になります。
・2名同時申込で両名とも会員登録をしていただいた場合、**計49,500円(2人目無料)**です。

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

●講師:デンカ株式会社 電池・導電材料開発部 松井 瑞樹 氏

【習得出来る知識】

アセチレンブラックを始めとするカーボンブラックの特性・特徴
アセチレンブラックの適切な選択と活用テクニック
カーボンブラックなどの微粉炭素の分散の考え方、実施方法
リチウムイオン電池用の導電材としての活用法と高性能化

【講演の趣旨】

カーボンブラックは、帯電防止や導電性付与の目的で樹脂やゴム、電池材料の添加材として幅広く用いられています。本講演では、カーボンブラックの製法、特性、物性評価法、並びに、用途例について代表的な導電性カーボンブラックであるアセチレンブラックを主体に解説します。リチウムイオン二次電池において、導電性を効果的に発現させるためには、適切なアセチレンブラックの選定に加え、配合、混練・分散と複数の要因があります。これらの要因について、技術的に重要な考え方についても解説します。

本講座では、代表的な導電性カーボンブラックであるアセチレンブラックの適切な選択と活用で、特性を最大限発揮し、リチウムイオン二次電池の特性向上に必要な知識と考え方について理解頂けるような講演にしたいと思います。

【プログラム】

- はじめに
- カーボンブラックの特性と用途
 - 代表的な導電性カーボンブラック
 - カーボンブラックの特長と製法と基本性状の評価方法について
 - 導電性カーボンブラックの特性と用途
 - リチウムイオン電池用途における導電材の役割及びアセチレンブラックの適用
- アセチレンブラックの導電性メカニズムと分散性
 - アセチレンブラックの代表的な品種
 - 導電性、分散性に影響を及ぼす因子
 - 高エネルギー密度化に向けた対応
- リチウムイオン二次電池の電極作製プロセスを事例にしたアセチレンブラックの分散技術
 - 用途における分散の定義及び工程分散について
 - 小粒径アセチレンブラックの活用術
 - 分散の新しい評価技術
- 小粒径ABを使用したリチウムイオン二次電池の電池特性
 - 小粒径化の効果と電池特性向上のメカニズム
 - アセチレンブラックとカーボンナノチューブの併用事例
 - まとめ

『導電性カーボンブラック』セミナー申込書<■LIVE ■アーカイブ> ※いずれかにチェックしてください

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

Eメール 郵送

● セミナーの受講申込みについて ●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたします。受講用URLは後日お送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>